

バーモントカップ第26回全日本少年フットサル大会 山形県大会開催要項

1. 主催 特定非営利活動法人山形県サッカー協会
2. 主管 特定非営利活動法人山形県サッカー協会フットサル委員会 上市市サッカー協会
特定非営利活動法人山形県サッカー協会四種委員会
山形地区サッカー協会フットサル委員会 新庄地区サッカー協会フットサル委員会
3. 後援 山形県教育委員会
4. 特別協賛 ハウス食品グループ本社株式会社
5. 協賛 サッカーショップ ノーボ・ムンド山形支店
6. 期間 2016年 7月 2日(土)・3日(日)
7. 会場 上市市生涯学習センター 【上市市東町3-61 TEL.023-673-1621】
9. 参加資格
 - (1)フットサルチームの場合
 - ①2016年の(公財)日本サッカー協会(以下JFAとする。)の【フットサル4種】の種別で登録した単独チームであること。一つの加盟登録チームから複数のチームで参加できる。JFA承認を受けたクラブを構成する加盟登録については、同一クラブ内の他の加盟登録チーム所属選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
 - ②前項のチームに所属する2004年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③外国籍選手は、1チームあたり3名までとするがピッチ上の2名を超えて同時に競技することはできない。
 - (2)サッカーチームの場合
 - ①2016年のJFAに、【4種】の種別で加盟登録した単独チームであること。ひとつの加盟登録チームから複数のチームで参加できる。JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を移籍手続きなしに参加させることができる。
 - ②前項のチームに所属する2004年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③外国籍選手は、1チームあたり3名までとするがピッチ上の2名を超えて同時に競技することはできない。
 - (3)各地区大会を通して、選手は他チームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
 - (4)引率者は当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。
 - (5)選手は保護者の同意のある者に限る。
10. 参加チームとその数 (1)参加チームは、次の各号により選出された24チームとする。
(2)酒田1 鶴岡4 新庄3 山形7 長井2 米沢7
11. 参加申込 参加申込書に記載しうる人員は、1チーム当たり24名(選手20名、役員4名)を上限とし、その選手は各地区大会に登録した者とする。また、参加申込書には併せて選手登録番号も明記すること。登録する選手については、本要項9に定める参加資格を満たしていること。
参加申込書の必要事項を入力明記のうえ、下記までデータでメールにて申し込むこと。
・参加申込書送信先: 山形県サッカー協会フットサル委員会 奥山 英幸 迄
送信先メールアドレス: ioai8001@hinanet.ne.jp
・申込締切日: 2016年 6月 5日(日)21時(締切日以降の内容の変更は認めない。)
12. 電子選手証 各チームの登録選手は、JFA発行の選手証(顔写真貼付のもの)若しくは、電子登録証の写し(顔写真が登録されたもの)を代表者会議及び試合会場に持参、代表者会議及び試合会場に持参すること。顔写真付きの選手証若しくは、電子選手証が確認できない場合は試合に出場することはできない。
13. 参加料 15,000円(代表者会議前に納入する事)

14. 競技形式

- (1) 一次リーグ: 24チームを4チームずつ6ブロックに分けリーグ戦を行い、各ブロック上位2チームが二次リーグへ進出する。
 - (2) 二次リーグ: 各ブロック上位2チームの12チームを4ブロックに分けリーグ戦を行い、上位1チームが決勝トーナメントに進出する。
 - (3) 決勝トーナメント: 二次リーグ各ブロック上位1チームの計4チームでトーナメント戦を行う。
 - (4) リーグ戦による順位決定方法は、勝ち点合計の多いチームを上位とし順位を決定する。
 - (5) 勝ち点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。
 - (6) 勝ち点合計が同じ場合、以下順序により順位を決定する。
 - ① 当該チーム間の対戦成績
 - ② 当該チーム内の得失点差
 - ③ 当該チーム内の総得点差
 - ④ グループ内の総得失点差
 - ⑤ グループ内の総得点差
 - ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告1回 1ポイント
 - (イ) 警告2回による退場1回 3ポイント
 - (ウ) 退場1回 3ポイント
 - (エ) 警告1回に続く退場1回 4ポイント
 - ⑦ 抽選
 - (7) ブロック間による、順位決定は勝ち点合計の多いチーム順とする。
 - (8) 勝ち点合計が同じ場合、以下順序により順位を決定する。
 - ① 当該チーム内の得失点差
 - ② 当該チーム内の総得点差
 - ③ グループ内の総得失点差
 - ④ グループ内の総得点差
 - ⑤ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告1回 1ポイント
 - (イ) 警告2回による退場1回 3ポイント
 - (ウ) 退場1回 3ポイント
 - (エ) 警告1回に続く退場1回 4ポイント
 - ⑥ 抽選
 - (9) 決勝トーナメントは、4チームによるノックアウト方式とし3位決定戦も実施する。
 - (10) 試合が、一方のチームの責で帰すべき事由により開催不能又は、中止になった場合その帰責理由のあるチームは0対5、若しくはその時点のスコアがそれ以上であれば、そのスコアで敗戦したものとみなす。
- ※当該チームとは、グループ内で勝ち点合計が並んだチームのことである。

15. 競技規定

大会実施年度フットサル競技規則による。ただし以下の項目については、本大会の規定を適用する。

- (1) ピッチの表面: フローリング
- (2) ピッチサイズ: 原則として32m×18m。センターサークル半径2.5m、ペナルティエリア1/4円ラインの半径5m、ペナルティキックマーク5m とする。
- (3) 使用球: 3号球フットサル用ボールを使用する。(主催者にて準備いたします。)
- (4) 競技者の数
 - ① 交代要員の数: 5名以内
 - ② ベンチに入ることのできる人数: 8名以内(交代要員5名以内、役員3名以内)
- (5) 守備側競技者のボール等から離れる距離は4mとする。(フリーキック、コーナーキック、キックイン)
- (6) 競技者の用具
 - ① ユニフォーム
 - (ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに色彩が異なり判別しやすい正副しっかりと留めること。
 - (イ) チームユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。

- (ウ)フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩及び同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩及び同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
- (エ)シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩でありかつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- (オ)選手番号については、1から99までの整数とし、0は認めない。フィールドプレーヤーは1番を付けることができない。必ず本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。又、貼り付け背番号は、試合中とれないようにしっかり留めること。
- (カ)ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみ、これを認める。ユニフォーム広告掲示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は、当該チームにて負担することとする。
- (キ)ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以降の変更は認めない。
- (ク)その他ユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程に則る。
- ②シューズ:キャンバス、または柔らかい皮革製で靴底がゴム製、または類似の材質でできている、接地面が紺色、白色、若しくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのものを着用すること。
(スパイクシューズ及び靴底が着色されたものは、一切使用できない。)
- ③ビブス:交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (7)試合時間
 - ①一次リーグは20分間(前後半各10分)のランニングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは3分間とする(前半終了から後半開始まで)
 - ②二次リーグは24分間(前後半各12分)のランニングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは3分間とする(前半終了から後半開始まで)
 - ③決勝トーナメントは16分間(前後半各8分)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。
- (8)試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝敗が決しない場合)
 - ①一次、二次リーグ:引分け
 - ②決勝トーナメント(決勝戦を除く):PK方式(3人制)により勝敗を決定する。
 - ③決勝戦:4分間(前後半各2分間)の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する
 - ④延長戦に入る前のインターバル:3分間
- (9)本大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- (10)本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会の規律・フェアプレー委員会で決定し当該チームに決定事項を通知する。

16. 表彰

優勝、準優勝、第3位までに賞状及びカップをそれぞれ授与する。

17. 経費

- (1)交通費:チーム負担とする。
- (2)宿泊費: 〃 (宿泊の斡旋については、東根温泉組合を通し斡旋いたします。宿泊希望のチームは参加申込先に併せて宿泊希望の旨を連絡願います。)

18. 組合せ

特定非営利活動法人山形県サッカー協会フットサル委員会において別紙通り決定する。

19. 代表者会議

チーム代表者は、必ず代表者会議に出席すること。尚、代表者会議は以下通り行う。2016年7月2日(土)上山生涯学習センター内大会本部(1F研修室)にて実施し、ブロックA、B、Cは午前9時00分から、グループD、E、Fは午後13時30分からそれぞれ実施する。

20. マッチコーディネーションミーティング

- チーム代表者は、必ずマッチコーディネーションミーティングに出席しなければならない。マッチコーディネーションミーティングは以下通り行う。
- (1)一次リーグ:代表者会議に併せて、大会役員立会の下実施する。

- (2) 二次リーグ: 大会会場の本部(1F研修室)にて、大会役員立会の下9時00分から実施する。
- (3) 決勝トーナメント: 審判員、大会役員立会の下、試合会場にて行う。準決勝は、13時30分から、決勝戦、3位決定戦は準決勝終了後試合会場です直ちに実施する。

21. 傷害補償

- (1) チームの責任において傷害保険に加入すること。
- (2) 大会競技中に発生した傷害については、大会本部にて応急処置を行いその後、近隣病院を紹介いたします。
- (3) 地震などの災害発生時には、本施設の災害対応マニュアルにしたがい避難すること。

22. その他

- (1) 今大会の優勝チームは、【バーモントカップ 第26回全日本少年フットサル大会全国大会(東京都/駒沢オリンピック公園体育館、大田区総合体育館 2016年8月12日~14日)】
また、準優勝チームは【第13回ドコモ東北少年少女フットサル大会(宮城県/シェルコム仙台 2016年9月24日(土))】への出場権利獲得と参加義務をそれぞれ負う。
- (2) 大会に参加する選手は、必ず保険証または保険証の写しを持参すること。
- (3) ピッチレベルでの飲料は水のみとし、指定した場所でのみ飲水可能とする。ピッチ内での飲水は一切認めない。
- (4) 参加チームは有資格者の主審・第2審判を準備し、帯同審判員として登録し2名のうち1名はフットサル審判資格が3級以上であること。又、登録されている審判員の重複登録及び他チームの帯同を兼ねることは出来ない。但し、競技当日に不測の事態が起こり、当日の当該試合の審判に影響が出る場合は早急に事務局に報告の上、代わりの審判員手配についてはそのチームの責任の下、対戦成績に影響ないチーム等へ依頼を行い準備することは許可する。(先ずは事務局に報告願います。不測の事態の事由についても報告の上で確認し、審判可能か否かを判断いたします。よって報告無しや、許可無しで登録審判員以外の方が実施した場合、1試合につき勝点を-3といたします。)
- (5) 各チームで発生した弁当等のゴミは、全て各チームで持ち帰ること。
- (6) 上山生涯学習センターは全面禁煙となっていますので、屋外の指定の箇所以外での喫煙は控えて頂きます様お願いいたします。
- (7) 申込み書に記載された個人情報、本事業以外の目的で使用される事はありません。